

2020-6-17

No.20-026

報道関係各位

“野球ができる喜び、を感じて決意の上方修正！”
山川 穂高選手、森 友哉選手、「尚更チャンスに“燃える”」
1 打点につき 10,000 円を「彩の国みどりの基金」などに寄付



今シーズンから新たに社会貢献活動に取り組む山川 穂高選手、森 友哉選手

株式会社西武ライオンズは、当社の社会貢献活動の総称として 2018 年 3 月に地域コミュニティ活動「L-FRIENDS」(※)を発足し、活動方針として「野球振興」「こども支援」「地域活性」の 3 つの柱のもと、野球教室の開催やオレンジリボン運動などのさまざまな社会貢献活動に取り組んでまいりました。2020 年 3 月 27 日に発表したとおり、今年 4 月からは新たな柱に「環境支援」を加え、“4 つの柱”で活動しています。

また、山川 穂高選手と森 友哉選手が今シーズンから新たに「環境支援」に関する社会貢献活動をスタートすると同日に発表しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響や、開幕延期に伴う試合数の減少などから、この度、一部条件を変更して活動することになりました。

当初、2020 シーズン公式戦において、山川選手は 1 本塁打につき 10,000 円を、森選手は 1 安打につき 2,500 円を積み立て、埼玉県とそれぞれの地元（沖縄県、大阪府堺市）に寄付する予定でした。

しかし今シーズンは、新型コロナウイルス感染拡大の影響で開幕は延期に。4 月には全国に緊急事態宣言が発出され、チームの全体練習も出来なくなりました。そのような状況下で、注意を払いつつも野球ができる喜びを改めて感じた両選手は、ロッカーの中で「もっと自分たちにできることはないのだろうか」「いつも応援してくれている皆さんに感謝の気持ちを表現できないか」と話し合いを重ねた結果、野球を通して社会に貢献したいという思いがさらに強くなりました。

そして、「打点やったらお互い競い合えるし、いっぱい貢献できる」という森選手の提案で、両選手とも **1 打点につき 10,000 円** を寄付することに決めました。チャンスに強い両選手の持ち味を最大限に活かされる内容になりました。

詳細は以下のとおりです。

(※) L-FRIENDS とは

2018 年 3 月より当社が行っているコミュニティ活動の総称。これまでの「野球振興」「こども支援」「地域活性」に、2020 年 4 月から新たに「環境支援」の取り組みを加え、4 つの柱として、よりすこやかな社会、のびやかな未来を目指しさまざまな活動を行います。

L-FRIENDS のロゴは、地域・ファン・選手・スタッフを、個性的な形を持つハートで表現し、それらが集まり、心がつながって未来へ向けて花開くプロジェクトであることを表しています。このハートの一つひとつは、LIONS の「L」も表現しています。

(L-FRIENDS 特設サイト／<https://www.seibulions.jp/lfriends/>)



◆山川 穂高選手が取り組む社会貢献活動

<活動内容>

2020 シーズン公式戦において 1 打点につき 10,000 円 を積み立て、合計金額の半分を彩の国みどりの基金へ、残りの半分を公益社団法人沖縄県緑化推進委員会に寄付

<コメント>

子どもたちが思い切り外で遊ぶことが出来ない日々が続き、今もなお油断出来ない状況が続いています。僕は小学生の頃外遊びが大好きだったので、子どもたちのことを思うと胸が苦しいです。

今回、初めてこの活動をすることを発表した後、友哉から『もっと目標を上げたい』と言ってくれたのがうれしかったです。もちろん、チャンスにはいつでも燃えますが、今年も塁上のランナーをどんどんかえすバッティングをしていけたらと思います。もちろん友哉に負けないように頑張りますよ！友哉が塁に出てくれれば、僕はホームランで打点を一気に稼ぎたいですね（笑）

早く子どもたちが緑に囲まれて、思い切り外で遊べる日が来ると信じて、1 打点 1 打点積み重ねていきます！僕の「1 打点」が少しでも役に立てばうれしいです。

<プロフィール>



出身地：沖縄県

出身校および球歴：中部商業高校～富士大学～埼玉西武ライオンズ

生年月日：1991 年 11 月 23 日

入団：2014 年ドラフト 2 位で入団

成績：2017 年月間 MVP（8 月、9 月 10 月）

2018 年月間 MVP（3 月 4 月、9 月 10 月）

2018 年オールスター出場

2018 年最優秀選手賞、最多本塁打者賞、ベストナイン

2019 年月間 MVP（3 月 4 月）

2019 年オールスター出場、第 1 戦 敢闘選手賞

2019 年最多本塁打者賞、ベストナイン

◆森 友哉選手が取り組む社会貢献活動

<活動内容>

2020 シーズン公式戦において 1 打点につき 10,000 円 を積み立て、合計金額の半分を彩の国みどりの基金へ、残りの半分を堺市都市緑化基金と堺市緑の保全基金に寄付

<コメント>

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、大好きな野球が出来ない日もあり、日々野球が出来る喜びを改めて感じました。一方で、自宅待機を余儀なくされて、自分の好きなことが出来ない人たちもたくさんいるということに、ずっともやもやした気持ちがあり、僕に何かできることはないかと考える日々が続いていました。自主練習期間中、『せっかくならもっと多くの寄付をしたい』と山川さんに相談したところ、山川さんもすぐに『そうしよう』と賛同してくれました。打点だったらもっと貢献できると思いましたし、山川さんとも競い合えると思いましたから。

僕はチャンスで打席を迎えたときにその雰囲気を楽しむようにしています。今年は、1 打点につき寄付をさせていただくということで、当然気合いもより一層入りますし、燃えますね。

1 打点 1 打点の積み重ねが環境保全につながるよう、集中してフルスイングしたいと思います。

<プロフィール>



出身地：大阪府

出身校および球歴：大阪桐蔭高校～埼玉西武ライオンズ

生年月日：1995 年 8 月 8 日

入団：2014 年ドラフト 1 位で入団

成績：2015 年オールスター出場、第 2 戦 敢闘選手賞

2016 年スカパー！サヨナラ賞（8 月）

2018 年スカパー！サヨナラ賞（3 月 4 月）

2018 年オールスター出場、第 1 戦 最優秀選手賞

2018 年ベストナイン、最優秀バッテリー賞

2018 年スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞

2019 年オールスター出場、第 1 戦 最優秀選手賞

月間 MVP（8 月）、ベストナイン、

最優秀選手賞、最優秀バッテリー賞

また、内海 哲也、増田 達至、外崎 修汰の 3 選手につきましても、昨シーズンに引き続き、社会貢献活動に継続して取り組みます。試合観戦招待などで社会貢献活動を行う予定だった栗山 巧、武隈 祥太、今井 達也の 3 選手につきましても、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、活動内容を一部変更して行う予定です。

◆彩の国みどりの基金

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0508/midorisaisei-top/kikin.html>

◆公益社団法人沖縄県緑化推進委員会

http://www.oki-green.or.jp/?page_id=35

◆堺市都市緑化基金

<https://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/koen/kikin/shokuchika/index.html>

◆堺市緑の保全基金

<https://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/koen/kikin/hozen/index.html>

【お客さまのお問合せ先】

埼玉西武ライオンズインフォメーションセンター TEL. (0570)01-1950(平日 10 時～18 時)